

時計台

SAPPORO INTERNATIONAL COMMUNICATION PLAZA FOUNDATION

前から

vol.68
July/2009

財団法人 札幌国際プラザ

〒060-0001
札幌市中央区北1条西3丁目 札幌MNビル
Kita1 Nishi3, Chuo-ku, Sapporo 060-0001
JAPAN
TEL:011-211-3670 FAX:011-211-3673
E-mail: sicpf@plaza-sapporo.or.jp
URL: <http://www.plaza-sapporo.or.jp>

北海道の森林保全と環境への配慮のため、道産間伐材を原料にした用紙、有害廃液の出ない「水なし印刷」及び大豆インキを使用しています。



P02

■ 特集

札幌・ポートランド姉妹都市 提携50周年



P04

国際プラザの事業紹介



P08

■ 市民交流

ミュンヘン市民大学 日本研修訪問団来札 ほか



P11

■ コンベンション

IMEX2009への出展 ほか

札幌・ポートルランド姉妹都市提携50周年

札幌市とポートルランド市との姉妹都市交流

≡ 姉妹都市交流の歴史

札幌とポートルランドは、共に百数十年前に開拓者によって開かれた都市で、ほぼ同緯度に位置し、気候・風土も似通っていることなど、多くの共通点を有していることから、これを契機に姉妹都市提携を結ぶことになり、昭和34年（1959年）11月17日、姉妹都市提携協約書が札幌で締結されました。

その後、50年間にわたり、スポーツ・芸術文化・経済などさまざまな分野で活発な交流が行



フッド山 (提供: ポートルランド・オレゴン観光協会)

われており、特に市民同士による草の根交流の分野での活発な交流がその特徴であり、姉妹都市交流のモデルとして高く評価されています。

≡ 「ポートルランド札幌姉妹都市協会(PSSCA)」のご紹介

ポートルランド札幌姉妹都市協会(以下PSSCA)は、1959年から始まった札幌市とポートルランド市の姉妹都市交流活動を支援する団体として設立されました。異文化理解及び両市市民の交流促進を目的としたNPO団体で、理事会があり、スタッフもおりますが、全員が賛金支給のないボランティアです。

これまでの長きにわたる札幌市との継続した友好交流活動を認められ、2004年には日本の外務大臣から「日米交流150周年記念外務大臣特別表彰」を、そしてポートルランド市長からは「スピリット・オブ・ポートルランド」を受賞しています。活動は、地域活動を支援するスポンサー、PSSCA会員、寄付及びボランティア・スタッフの方々により支えられています。今回のポートルランド市訪問に当たり、



路面電車 MAX

昨年5月に会員の皆様が「オークション」を開催し、歓迎のための資金集めを行うなど、本心に熱心に活動しています。

PSSCAの方々には、訪問初日の「再調印式・レセプション」の開催にあたって、ポートルランド市との調整・セッティング、2日目のグラランド・フローラルパレード観覧席確保のためのホテルとの交渉、3日目のPSSCA主催による日本庭園でのフェアウエルパーティーの開催などの公式行事をはじめ、ホームビジットプログラム、バイリンガルボランティアの手配など様々な歓迎のための準備をしてくださいました。

港到着ロビーで行われ、ロイヤルロザリアンによる歓迎プレートの贈呈、関係者挨拶、アルパ



市庁舎での再調印式

(ハーブ)の演奏があったほか、軽食コーナーも用意され、訪問団は暖かい歓迎に感激しました。

同日午後にはポートルランド市役所内の議場にて両市長による姉妹都市提携再調印式が行われ、会場には両市職員をはじめ、姉妹都市協会関係者、札幌市からの訪問団など100名ほどが参加しました。

その後、市役所1階ロビーに場所を移し、再調印式出席者全員がポートルランド市長主催の歓迎レセプションに出席。札幌商工会議所名誉会頭伊藤義郎氏による乾杯のあと、会場となった市役所ロビーでは軽食や地元のワインなどが提供され、



市庁舎での歓迎レセプション

弦楽四重奏の流れる中、和やかな雰囲気での交流が行われました。

また、市内中心部に位置するパイオニア・プレイス内アトリウムにおいて札幌の子供たちが描いた絵画作品展のテープカット式に出席。

上田市長、トム・ポッター前市長、ポートルランド姉妹都市協会のトンブソン・ファアラ会長、宮村副議長によるテープカットのあと、会場内では地元のチョコレート店である「Moonstruck Chocolate Cafe」提供によるチョコレートドリンクが振舞われるなど、とても協力的な中で参加者は楽しむことができました。

同会場内では札幌市の観光紹介ブースも開設され、ミス札幌がボランティア通訳の方々と共に札幌の魅力について紹介しました。

翌6日は、全米でも屈指の規模で行われるローズ・フェスティバルのパレードを、宿泊したベンソンホテルが設置した特別席にて見学。当日は気温がかなり低かったため、ホテルから提供された毛布で暖をとりながら写真を撮るなど、思い思いに楽しめました。

札幌市長が乗った車が通過の際



フローラルパレードの様子

には持参した「市民訪問団横断幕」を皆で掲げ、大歓声で歓迎しました。

また、今回は、50周年を記念し、ロイヤルロザリアンがスポンサーとなった記念の山車が用意され、ミスさつぽろ、札幌姉妹都市協会の村山会長、ローリーの会松村会長、グリーン購入ネットワーク代表藤田靖氏がこの山車に乗ってパレードに参加しました。

7日にはポートルランド市内にある日本庭園にて、現地姉妹都市協会の主催によるフェアウエル・パーティーに出席。

両市長による桜の植樹の後、庭園入り口付近を会場に懇親会が開かれ、地元の有志の方々が焼きそばや焼き肉類などをその場で調理してください、参加者全員で楽しみました。

庭園内のパビリオン(和風の多目的建築物)ではアイヌとネイティブ・インディアン



日本庭園でのさよならパーティー

の伝統衣装の展示や、草月流いけばなのいけ込み展示などが行われ、文字通り花を添えました。

最終日前日の8日は国際プラザが企画した、チェリーウッド・リタイアメント・コミュニティでの日本文化交流、グッド・サマリタン病院視察とボランティア

札幌・ポートルランド姉妹都市提携50周年記念市民訪問団

札幌にとって最初の姉妹都市である米国オレゴン州ポートルランド市との姉妹都市提携50周年を記念し、札幌市長をはじめとする市民訪問団が去る6月5日からポートルランド市を訪れ、現地の方々との様々な交流を持ち、相互の友情を確認しました。

初日の6月5日には、早朝にもかかわらず、ポートルランド港湾局、ノースウエスト航空主催の歓迎式がポートルランド空



ポートルランド空港のウェルカムボード



パイオニアプレイスでの子供絵画展

との交流、ウォーキング・ツアアの3グループに分かれて参加しました。

同日午後3時から、パイオニアプレイス内の高級デパートSak's Fifth Avenueにおいて、札幌からの訪問団を対象に滞在期間中有効の特典カードが配布されたほか、館内2カ所にスイーツとミネラルウォーターの無料サービスコーナーが設けられ、歓迎されました。

この日の夕刻、ブリッジポート・ブリュワリーのレストランにて昨日の答礼として札幌側主催の夕食会を開催。ポートルランドの方々約30名を招待し、盛大に行われました。後半には上田札幌市長も駆けつけ、市民訪問団を代表して今回の受け入れに対する感謝の言葉を述べられました。

今回、新型インフルエンザの影響で参加をキャンセルした「HBCジュニアオーケストラ」の団員からお預かりした「感謝の「寄せ書き」集」を、受け入れアレンジを担当したオーリンドルフ氏に贈呈。ファアラ会長からの上田市長への記念品贈呈などもあり、終始和やかに交流が行われ、11月の札幌での再会を約してお開きとなりました。



札幌国際プラザの事業紹介

コンベンション事業



「観光立国日本」「観光庁の設置」「ビジット・ジャパン・キャンペーン(VJC)」という言葉、ニュースや新聞などでご存知の方も多いと思います。これは2010年までに海外から日本への旅行

者を1,000万人に、また2011年までに国際会議の開催件数を250件に、という目標を掲げ、現在国を挙げて取り組んでいるものです。観光は、地域における消費の増加や雇用

の創出など、幅広い経済効果をもたらすとともに、国際相互理解の促進に大きな役割を果たします。この観点から観光振興は経済社会の発展と平和構築のために不可欠なテーマといえます。

札幌市もこうした取り組みを積極的に展開しています。札幌コンベンションビューローでは、行政機関やコンベンションビューロー企業と連携して、本市の集客の拡大に取り組んでいます。

「コンベンション」と「インセンティブツアー」の誘致・支援

コンベンションとは国際会議、学会、全国大会など、またインセンティブツアーは企業の報奨旅行を言います。札幌コンベンションビューローは、これらを誘致する専門集団として、国内外で誘致活動を展開しています。

インセンティブ・コーディネーターの配置

札幌コンベンションビューローでは、海外からのインセンティブツアー参加者に喜んでもらえるような独自性あるユニークな企画を提案しています。インセンティブツアーを実施する際には、それぞれの企業文化に応じた企画が求められるため、プランニングの際に専門知識やノウハウが重要となります。2007年度から全国に先駆けてインセンティブ・コーディネーターを配置している他、2009年度には中国MICEコーディネーターを委託し、対象となるマーケットに応じた誘致プロモーションを展開しています。



中国 MICE コーディネーター 唐君氏

専門見本市で誘致活動

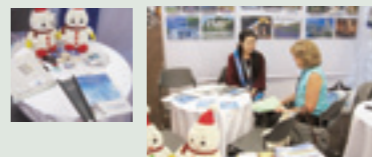
国内外のコンベンション・インセンティブ専門見本市に出展し、コンベンション主催者やミーティングプランナーなどのバイヤー（顧客）と商談。主催者等の利益や目的に沿った札幌開催の企画提案についてプロモーションを行い、継続的なフォローアップにより開催実現に努めています。

●IMEX



欧州最大のコンベンション・インセンティブ専門見本市（ドイツ：フランクフルト5月）

●IT&CMA



アジア最大規模の国際コンベンション専門見本市（タイ：バンコク10月）

●IME



国内唯一のコンベンション専門見本市（東京12月）

グリーンコンベンションの推進

札幌コンベンションビューローでは環境に負荷をかけない「グリーンコンベンション」の普及を目指し、グリーン購入による資料調達、カーボンオフセット、グリーン電力の購入など、主催者に環境にやさしい会議の運営の導入について提案を始めています。



ハイブリットバス マイ箸

北海道コンベンション誘致推進協議会

札幌コンベンションビューローでは、『北海道コンベンション誘致推進協議会』の一員として、道庁・旭川・函館・釧路・北見と共に、北海道全体のプロモーション活動を行なっています。北海道全体としてのコンベンション誘致・開催に対する相互連携を図るだけでなく、首都圏のコンベンション主催者を対象とした「誘致懇談会」、国内唯一のコンベンション見本市「国際ミーティング・エキスポへの出展」、懇談会・エキスポ出展などを対象とした「フォローアップセールス」などを実施しています。また、新たな活動として、構成各都市の最新情報をお届けする「メールマガジン」の配信を開始しました。



誘致懇談会 IME 出展

メルマガ登録は、こちらから ▶ <http://conv-promotion.mash-net.jp/regist.php>

コンベンション関連産業等との連携

コンベンションやインセンティブツアーなどの振興に向け、関係機関や民間企業と連携して事業企画や人材育成などを行っています。

日本コンベンション研究会

全国の観光分野の研究者、コンベンションビューロー、関連企業等と呼びかけ、観光コンベンション振興や地域づくりを研究する場として「日本コンベンション研究会」を立ち上げ、国際観光コンベンションフォーラムを実施しています。



国際観光コンベンションフォーラム 2009（松江会場）



国際観光コンベンションフォーラム 2009（米子会場）

NPO法人コンベンション札幌ネットワークとの連携

コンベンションの誘致・振興活動を目的に、関連企業約120社が加盟する組織で、グリーンコンベンションセミナーや人材育成事業、コンベンションの誘致事業などを、連携して行っています。



カーボンオフセット・植林体験ツアー



「札幌コンベンションサービスガイド」の編集・発行

フィルムコミッション事業



網走、斜里、釧路や阿寒湖など北海道東部も舞台になった中国映画「非誠勿擾（フエイチエンウーラオ）」が大ヒットして、中国で北海道ブームが起きている、という新聞記事をご覧になった方も多くいらっしゃると思います。こういった映画をはじめ、テレビドラマ、CMなどのロケーション撮影（撮影所外での撮影）は、札幌を含め道内では数多く行われています。これは地域の映像産業の振興とクリエイターの育成、地域コンテンツの制作・発信にもつながり、また地域への集客にも貢献します。既にこうした取り組みを始めているのがさっぽろフィルムコミッションです。

ロケーション撮影の誘致・支援

さっぽろフィルムコミッションは国内外の関係者とのネットワークを広げ、ロケーション撮影に関するコンサルティングやロケーション撮影の誘致活動、市内映像関係業者とのビジネスマッチングなどを行っています。



釜山国際映画祭 (BIFCOM) に出席し、ロケーション撮影の誘致や札幌のクリエイターとその作品を紹介しています。

韓国映画「おいしいマン」の撮影の様子

地元映像クリエイターの育成と作品の配信

クリエイターを映像制作会社に派遣することによってスキルアップ、キャリア形成の支援を行うほか、札幌・北海道の映像作品を配信しています。

国際連携による映像産業の振興

映像の国際流通や共同人材育成、共同制作の促進について、映像産業の発展に力を入れる韓国釜山広域市と豪州クイーンズランド州映像産業振興機関(QPIX)とそれぞれ了解覚書を取り交わしています。この覚書に基づきクリエイターの相互派遣を行い、既に3件の作品が制作されています。



QPIXとの調印式

団体賛助会員紹介コーナー

ホテルライフオート札幌

札幌市中央区南10条西1丁目 ☎521-5211 <http://hotel-lifort-sapporo.jp>

1997年8月入会。ホテルライフオート札幌は、札幌駅からタクシーで10分、地下鉄で3分と近く、都心にありながら、市民のオアシス中島公園に隣接して静かな環境を誇っています。

観光やご出張に、お一人でもご家族連れでもご利用いただけます。詩都札幌の滞在拠点にふさわしい、210室のホテルです。

団体賛助会員紹介コーナー

北翔大学

江別市文京台23番地 ☎386-8011 www.hokusho-u.ac.jp

1992年2月入会。本学は札幌圏内の大学として小規模ながらも、交換留学制度や研修団の相互派遣など海外協定校との学生交流を中心に国際交流を推進しています。これまで、札幌国際プラザ主

催のホームステイ制度やアメリカ、中国の文化・語学研修派遣事業等に学生たちが参加しています。今後もご支援を賜りながら、共に大きく発展していくことを願っています。

札幌市民に異文化に触れる機会、世界に目を向けるきっかけを提供したい。
札幌で生活する外国籍市民の方々が心豊かに暮らせるようにしたい。そんな思いから、同じ志を持つ市民団体、ボランティアの皆さんと協働して、様々な活動をしています。そして、この活動の輪をもっともっと広げ、国際性豊かな街を育むお手伝いをしていきます。

安心、快適な生活環境を

海外の地で生活することになったとき、大きな不安を感じます。家族が同伴ならばなおさらです。言葉の問題だけでなく医療や教育、異文化への対応など心配事が尽きません。こういった不安をできるだけ取り除き、安心して暮らせる環境をいち早く提供するための取り組みをしています。



医療通訳を知るセミナー



外国籍市民コミュニティの支援「ヤンガー祭り」



外国人法律支援ネットワーク

外国籍市民とともに

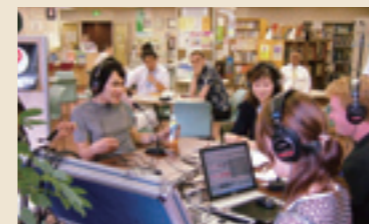
文化や言葉の違いによるさまざまな弊害をできるだけ取り除き、安全で、快適に暮らせる環境を、また地域住民と相互に理解し合えるコミュニティをつくるための活動をしています。

災害などの非常事態に備え

避難場所など基本的事項を知らせることだけではなく、災害時において外国籍市民が孤立することなく情報入手や助けを受けられるようにするために、市民団体やボランティア、行政機関などと連携した取り組みを進めます。



防災ツアー



「みんなのラジオ」地域FMを活用した情報の配信



外国語ボランティアを対象とした防災講習会

地域コミュニティとの接点を

生活基盤となる地域コミュニティと誤解や偏見のない良好な関係を築くため、様々な取り組みをしています。



異文化交流会「おとなりさんは外国人」

ホームステイ・ホームビジット

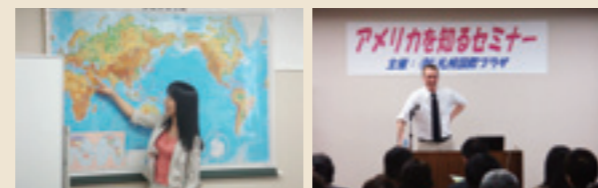
国際交流などを目的に札幌を訪れる外国人を一般家庭に受け入れて宿泊させ、日本の日常生活を体験し、相互の交流と理解を促進する目的で、ホーム

ステイ・ホームビジットを実施しています。また、留学生には札幌での新生活の支援や日本の家庭文化を体験する機会の提供も行っています。

市民とともに

私たちの生活はいろいろなかたちで世界と結びついています。人、物、お金、情報が国境を頻りに行き来する時代になって、遠い場所で起こったことにも私たちの生活は影響を受けています。

こうした直接・間接を問わず影響しあう国々のことを、市民の目線から、また相互理解の視点から、その国の文化や人々の暮らしなどを紹介するセミナー等を開催し、皆さんに世界を知り、異文化に接し、交流する機会を提供しています。



中東を知るセミナー

アメリカを知るセミナー



ロシアを知るセミナー



中国を知るセミナー



韓国を知るセミナー

学生とともに

これからの社会を担う学生たちに、物事をグローバルな視点から考え、異文化を受容できる寛容な精神を育み、コミュニケーション能力を高めてもらう機会を提供しています。



「学生国際合宿セミナー」中国、韓国、日本（札幌圏大学）の学生が合宿し、講義テーマについて共同作業で取り組みます。



「大学生中国文化語学研修派遣」2週間、中国、瀋陽市の大学で語学研修・文化学習や地域との交流を行います。語学学習の成果を試す機会であり、さらなる実践的な語学力も養います。



プラザでインターンシップ

ジュニア国際交流体験

札幌姉妹都市協会

国際プラザは札幌市の姉妹都市であるポートランド市（米国）、ミュンヘン市（ドイツ）、瀋陽市（中国）、ノボシビルスク市（ロシア）との交流事業を実施する「札幌姉妹都市協会」の事務局を担っています。

●ポートランド市／1959年11月提携



ポートランド市民交流団



英語弁論大会

●ミュンヘン市／1972年8月提携



訪問団との交流会



ミュンヘンクリスマス市

●瀋陽市／1980年11月提携



式典の様子

●ノボシビルスク市／1990年6月提携



訪問の様子

札幌圏大学国際交流フォーラム

国際プラザは札幌圏の大学23校で構成する「札幌圏大学国際交流フォーラム」の事務局を担っています。同フォーラムは留学生受け入れや大学の国際交流事業に関する情報交換を目的に1989年に設立されました。セミナーや講演会も開催しています。



総会・研修会の様子

冬の見本市、冬の都市フォーラム

国際プラザは、札幌市が提唱して始めた「北方都市市長会議（現在は「世界冬の都市市長会）」に併催される「冬の都市フォーラム」「国際冬の見本市」の日本の窓口を担っています。来年1月にエストニアのマルドゥ市で会議を開催の予定です。



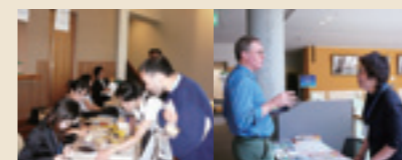
冬の都市フォーラムの様子

冬の見本市

地域と世界をつなぐボランティアの活躍・貢献

国際交流や国際会議の受け入れにおいて、また外国籍市民への情報提供など、地域の内なる国際化に大きな貢献をしています。

外国語ボランティア



国際会議のインフォメーションデスクで活躍

ホームステイボランティア

ホームステイ対面式

日本文化体験ボランティア



サロン・カウンターでの活動

「さっぽろ雪まつり」でガイド



国際会議などで日本文化体験を提供

市民団体との連携



市内ボランティア団体による「医療通訳ボランティアセミナー」



日本語ボランティアによる日本語教室

ミュンヘン市民大学 日本研修訪問団来札

さる、6月7日(日)～10日(水)までの日程で、札幌の姉妹都市ドイツ・ミュンヘンの市民大学で日本語を学ぶ青年と日本語教師の谷村哲氏ら23名が札幌を訪れました。谷村氏の引率による訪問団の札幌訪問は2年ぶりですが、今回は沖縄、北九州、京都、東京などを巡る5月30日(土)～6月13日(土)までの来日期間中の姉妹都市訪問となりました。

札幌到着日の6月7日(日)は、午後1時より、札幌ホームステイ協会の協力のもと、国際プラザ5Fホールにて歓迎交流会を開催。ポットラックによる会食、伝統楽器の演奏や歌などを交換し交流しました。交流会には、訪問団のホームステイの受入家庭を含む札幌ホームステイ協会会員のほか、ミュンヘン市札幌姉妹都市交流会の方々、2007年の姉妹都市提携35周年記念事業である「ミュンヘン友好の旅」に参加しミュンヘンを訪問した方々など、ミュンヘンゆかりの方々が会し、訪問団を含め総勢94名が参加、ミュンヘンと札幌の市民レベルの交流の絆の強さを再確認させられました。



歓迎交流会

翌8日(月)は札幌市生島典明副市長を表敬訪問。ミュンヘン市長の親書を渡し、生徒らの日本語も披露。午前中に訪問した札幌北高等学校では、授業風景を見学した後、家庭科クラブの生徒らと昼食を食べながら交流。午後は介

第33回韓国を知るセミナー 親子で仲良くCooking!

国際プラザでは、日本と地理的に近い韓国への理解を深めることを目的として、「韓国を知るセミナー」を実施しております。

3月27日(金)、札幌市国際交流員カン・ミンジョンを講師に、「第33回韓国を知るセミナー」が札幌エルプラザ(札幌市男女共同参画センター)料理実習室において開催されました。



講師の紹介

今回のセミナーの目的は、韓国では屋台などで気軽に食べるのできる5つのおやつメニューを親子で作って食べることにより、韓国の食文化やおやつ文化

を理解してもらうことでした。札幌市内の大学に留学している韓国人生4名もアシスタント講師として参加し、韓国では定番のおやつであるキンパヤチャプチェ、トッポッキなどをグループに分かれて作りました。でき上がったおやつを試食しながら、参加した親子は「おいしい」と感想を言っていました。



親子で仲良くCooking



授業風景

国際プラザの日本文化体験ボランティアの協力による茶道体験。返札に訪問団のドイツ青年がお茶を点てるなど、茶道を通じた日独交流となりました。午後は札幌市アイヌ文化交流センターへ。センターの職員の方の説明を受け、屋内の展示室、屋外ではチセ(アイヌの伝統家屋)を見学しました。一日の最後は温泉体験。日本の風情を楽しみつつ、旅の疲れを癒しました。

訪問団は10日(水)朝、ホストファミリーに見送られて笑顔で離れましたが、この数日間の交流会やホームステイを通じて、両市の市民の絆がさらに深まることは間違いありません。今回の交流に参加した皆さんが、またいつか再会する日を楽しみに...



外国語ボランティア

外国語ボランティア新規募集説明会

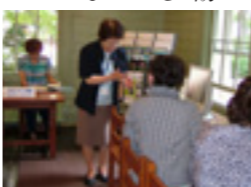
5月19日(火)、21日(木)、23日(土)の3日間、国際プラザ5Fホールにて、「札幌国際プラザ外国語ボランティア新規募集説明会」を開催いたしました。説明会では、まず国際プラザから札幌市の国際化施策や外国語ボランティア登録制度、派遣活動に関する説明を行いました。続いて、外国語ボランティア登録者による自主活動組織「外国語ボランティアネットワーク」から組織についての説明やグループ活動についての紹介がありました。各グループのブースに分かれ、個別相談に応じる時間も設けられました。3日間にわたる説明会には、143名の方々に御越しいただき、多くの方にご登録いただきました。



新規説明会

時計台ボランティア活動開始

6月1日から、札幌の観光名所である時計台館内にて、外国語ボランティアの方々による案内活動が始まりました。英語・中国語・韓国語の3カ国語に対応し、外国人観光客だけではなく日本人観光客に対しても案内を行っています。時計台館内の案内や札幌の観光情報の提供など、国内外の様々な地域から訪れる観光客の方々に、より札幌を楽しんでいただけるよう尽力しています。ボランティアの皆さんによるおもてなしが、来館者の方々に大変喜ばれています。



時計台活動

第17回中東を知るセミナー 「民族人種・宗教のつぼー湾岸地域、パレスチナの社会問題と女性たち」

6月26日(金)国際プラザ5Fホールにて、第17回中東を知るセミナー「民族人種、宗教のつぼー湾岸地域、パレスチナの社会問題と女性たち」を開催しました。

このセミナーは、(財)中東調査会と外務省との共催で開催するもので、今回は講師に長山佳子氏(外務省国際情報統括官組織第四国際情報官室課長補佐)と、小林



ブルカを試着する参加者

和香子氏(前・日本ボランティアセンターエルサレム所長、現・早稲田大学大学院アジア太平洋研究科国際関係学専攻博士課程在学中)のお二人を迎え、女性の視点から中東地域についてお話いただきました。当日は79名の方にご参加をいただきました。セミナー終了後も多くの参加者が講師と意見交換をするなど、有意義な時間となりました。



パレスチナについての講演に耳を傾ける参加者

国際交流員の就任挨拶

皆さん、初めまして!2009年4月に中国の北京から参りました郝艶竹(カク・エンチク)と申します、お世話になります。

私は2003年に北京師範大学に入ってから日本語を勉強し始めて、日本語を日本語文化に大変興味を持つようになりまし。3年生の時に、奈良県の天理大学に約1年間留学をいたしました。楽しい毎日を通して、日本に対するより深い理解ができました。留学から帰国したのは2007年の2月、2年ぶりですが、また日本に戻って来ることが

できて本当によかったです。何よりも、今回は国際交流員として、札幌市で仕事することを大変光栄に思っております。日本の国際化が進んでいると留学のときから実感しており、札幌も同じく国際的な町になっていっていると思います。多言語による公共施設の表示はもろろん、活躍している外国語ボランティア、国際課題に関心を持っていらっしゃる札幌の市民の方々の姿を見て、感心がやみません。世界の人に住みやすい札幌、世界の人に好まれる札幌を作ること、少しでも力になれたらいいなと思、皆と一緒に頑張

郝艶竹(カク・エンチク)さん

りたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。



日本文化体験ボランティア 2年目活動開始!

5月28日(木)国際プラザ5Fホールにて、日本文化体験ボランティアの平成21年度総会を開催しました。当日は、代表、副代表のほか、着付け、茶道、華道、書道、折り紙などの各種目の皆さまに参加いただきました。今回の総会では、これまで代表を務められた古島麗子さんから池上美佐子さんへと代表の交替が行われたことをはじめ、様々な議題について活発に話し合いが行われました。

平成21年度初のボランティア活動は、6月9日(火)札幌エルプラザの茶室で実施された「ミュンヘン市民大学日本研修訪問団」の茶道体験でした。総勢23名の訪問団に対して、8名のボランティアの方々に、お茶の淹れ方やおもてなしが行われ、大変賑やかで楽しい活動となりました。



茶道体験

札幌圏大学 国際交流フォーラム

〈総会・情報交換会〉



札幌圏の大学・短期大学が国際交流等に關する情報交換を目的として1989年に設立した同フォーラムは、今年度発足20周年を迎えます。現在は23の大学および短期大学が会員校となり、事務局を国際プラザに置いて活動しています。去る5月29日(金)には、京王プラザホテル札幌を会場に、平成21年度の総会及び情報交換会を開催しました。今年度の総会には、18大学より29名の国際交流担当教職員が参加し、昨年度の事業・決算報告並びに今年度の実施事業・予算等を確認しました。総会に引続いて開催された情報交換会では各校の国際交流の現状や将来の展望について、さまざまな意見が交換されました。

今年度は会員校との共催事業のほか、20周年記念事業を計画しています。

防災センター見学会開催 外国籍市民防災事業

5月15日(金)、国際プラザと外国語ボランティアネットワーク多文化共生グループ「SKY」の共催事業として、留学生のための防災センター見学会を実施しました。見学会では34名の北海道大学留学生・日本語研修生が、札幌市民防災センターにて地震、消火、煙避難の訓練に参加しました。防災センターのスタッフによる日本語の説明、SKYメンバー6名による英語の通訳に、参加者は熱心に耳を傾け、訓練に参加していました。世界各国から来日する留学生の中には、地震等の災害に対する知識や経験を持たない留学生も多くいます。見学会への参加は、日本で起こり得る災害の模擬体験を通して、正しい知識・手段を学ぶ機会となっています。国際プラザでは、新たな留学生が札幌を訪れる秋頃にも同事業の実施を予定しております。



「外国籍市民のための札幌生活情報」 ウェブサイトをリニューアル!

日本語、英語、中国語簡体字、ハンガリーによる多言語ウェブサイトを「外国籍市民のための札幌生活情報」が大幅リニューアルされました!

(http://www.plaza-sapporo.or.jp/plaza_sapporlife/)
新サイトは、これまでのサイトをより分かりやすく使いやすくするために、各所に工夫を凝らしています。また、トップページの写真は季節に応じて変更してまいります。どうぞご期待ください!
そのほか、札幌市国際交流員によるドイツ語、ロシア語ブログも随時更新中です!



同時通訳者による講演会開催 「放送通訳席で聞いた オバマ大統領のスピーチ」

5月23日(土)KKRホテル札幌にて、同時通訳者による講演会「放送通訳席で聞いたオバマ大統領のスピーチ」を開催しました。この講演会は、国際プラザが毎年行っているコンベンションボランティア研修会の位置づけとして、北海道通訳アカデミーの協力のもと行われ、当日は約130名の方に参加をいただきました。

講師の鶴田知佳子氏は東京外国語大学教授で、オバマ大統領就任演説をはじめ、主要スピーチの多くを担当される同時通訳者です。当日はご都合によりビデオ参加となりましたが、同じく東京外国語大



講師 内藤稔氏
演を聞いて

学助教で同時通訳者の内藤稔氏をお招きし、北海道通訳アカデミー講師の熊谷ユリヤ氏とともにビデオ解説を中心に約1時間30分の講演を行いました。



講演に耳を傾ける参加者たち

ついて内容や話し方などの点から語られました。スピーチの中の印象的フレーズや、音域、スピード、間の取り方といった点からのお話は、私たちがスピーチを行う上でもとても参考になるもので、参加者は時折メモをとりながら熱心に耳を傾けていました。また、同時通訳者としてのエピソードや、通訳者を養成するための訓練としても使われるシャドーイングの実演など、同時通訳の現場で活躍されている講師ならではのものもあり、盛りだくさんの内容の講演会となりました。

今回の講演会は、申し込み受付の時点から大変人気で、定員の人数を超える多くの方にお申し込みをいただきました。充実した内容の講演会に、参加者は有意義な時間をすごされていたようです。

国際情勢講演会開催 海外からのお客様を迎える際の国際儀礼

7月4日(土)大学共同利用施設「ACU」にて、国際情勢講演会を開催しました。この講演会は、海外からのお客様を迎え入れるために必要なプロトコル(国際儀礼)を学ぶことを目的とし、当日は113名の方が参加されました。

講師には外務省儀典官の柴田和夫氏をお迎えして、国旗の掲揚の仕方、服装、席次、食事等の点から、国際儀礼について経験談を交えながらお話していただきました。また、「国際儀礼は形も重要だが、いかに心を込めるかが大切」とも話され、参加者は熱心に聞き入っていました。



アジア太平洋経済協力会議(APEC)貿易担当大臣会合の札幌での来年開催が決定されるなど、さまざまな国際会議が道内各地において積極的に開かれ、世界各国から来訪されるゲストを迎える機会が増えています。こうした中で、今回の講演会は海外からのお客様を迎えるための国際儀礼を学ぶ良い機会となりました。

学会開催支援 札幌シテイインフォメーションデスクの設置

6月11日(木)〜12日(金)の2日間、札幌コンベンションセンターにて全国から1,000名以上のご参加のもと『第130回日本歯科保存学会2009年度春季学術大会』が開催されました。札幌コンベンションセンターでは、学会開催の支援として観光資料等の提供をすることも、開催当日に札幌シテイインフォメーションを設置しました。

このシテイインフォメーションは、国際プラザに登録いただいている市民ボランティアの方々に協力いただき、魅力あふれる札幌及び近郊の観光から、地元の美味しいスーパカレのお店などのリアルなお店などの情報を、様々な情報を提供するもので、ご利用いただいた参加者の方々に大変好評でした。

今後とも様々な支援を通して、札幌の魅力を広めて行きたいと考えております。

IMEX2009への出展 欧州市場に札幌を強くアピール



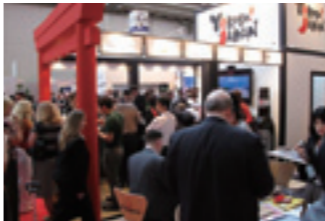
IMEX会場であるフランクフルト・メッセ

8,900名を超える関係者が集まる過去最大規模の展示会となりました。今回は、国が掲げるビジネスマッチング・ジャパン・キャンペーン（以下、VJC）の一環として、各都市ビューローと関連企業の共同出展であり、日本ブース正面には鳥居が配置されるなど、「日本」を効果的にアピールするものでした。



バイヤーとの商談風景

札幌としては昨年に引き続き2度目の出展になります。2008年G8北海道洞爺湖サミットの開催地としての知名度から、商談の事前予約数は昨年の2倍に達し、注目度の高さが伺われました。ブースでは、札幌・北海道の魅力を紹介する動画や、雪だるまのモチーフで統一したギブアウェイを提供するなど、来場者の目を引く工夫を凝らしました。バイヤーとの面談時間は1件あたり20分ほどでしたが、時には時間を延長するほどの濃いものもあり、質の高い効果的な商談を行うことが出来ました。



ハッピー・アワーで賑わいを見せる日本ブース

枝豆、ビールなどをふるまうハッピー・アワーを行い、この間、大勢のバイヤーで賑わいを見せました。日本の魅力をPRする機会であっただけでなく、バイヤーと出展者の情報交換の場、しいては将来のビジネスへとつながる一幕となりました。



各種表彰が行われた公式晩餐会

また、期間中に開催された公式晩餐会には約600名が参加し、環境に配慮したイベント運営者に対して与えられるグリーン・ミーティング・アワードや、世界4地域別にコンベンション・イノベーション業界での貢献者を称えるアカデミー・アワードの発表及び表彰が行われました。同レセプションには、米国Green Meeting Industry Council代表Amy Sparisano氏も出席。同女史からは、札幌のグリーン・コンベンションの取り組み

Meet Japan 2009 東京商談会へ参加

去る3月4日(水)、日本政府観光局（JNTO）主催による「Meet Japan 2009」が開催され、日本でのコンベンション開催に意欲的なキーパーソン4カ国9名が招請され国内13都市との商談及び地方視察を行いました。札幌コンベンションビューローでは、東京商談会に参加し、医学、地震工学、農業、教育、芸術等の分野の主権者に対して、札幌及び北海道におけるコンベンション環境について終日情報交換をしました。

2008年北海道洞爺湖サミット開催地としての知名度向上をふまえ、環境に配慮した国際会議の運営を強く打ち出した札幌独自の事業展開に、主催者からは高い関心が寄せられ、今後の誘致活動に向け手ごたえを感じました。



中国インセンティブツアー誘致に向けプロモーション開始

札幌コンベンションビューローでは、アジアからのインセンティブツアー誘致支援活動を積極的に展開しておりますが、これまでの韓国、台湾、香港、シンガポールなどに加え、新しい有力な巨大市場として、昨年度から、中国へのプロモーションを開始しました。



北京旅游局・商談



中青旅・社員セミナー

去る3月10日(火)から14日(金)までの4日間、北京及び天津を訪問し、北京市旅游局、天津市旅游局、天津市旅行会社20社などの関係機関に対し、デザインেশョンとして「札幌・北海道の魅力」を積極的にPRしました。また、昨年12月に札幌へ招請した北京の有力エー

ジェントのフォロアアップとして、中青旅（CYTS）社において、若手社員30人を集めた「札幌セミナー」を開催する機会を得ました。

現在中国では、北海道ロケが行われた映画「非誠勿擾」が大ヒットし、北海道への注目度が高まっていることもあり、札幌ツアー造成に有効な観光リソース情報について非常に熱心な反応と手ごたえを感じました。

この4月には、北京・上海からのインセンティブツアーが実施され、到着ロビーにおける歓迎出迎えを行うなど、プロモーションの成果も上がってきています。

このような状況をふまえ、札幌コンベンションビューローでは、今年度から、中国MICEコーディネーター1名を新たに配置し、情報収集や要望に対する細やかな対応を行っています。

初代コーディネーターの唐氏によると、「ツアー造成に関わる中国側担当者は、北海道への関心が高く、札幌・北海道へのインセンティブツアー送客は今後早い段階での増大が見込める」とのこと。

人的ネットワークを重要視する中国におけるプロモーション活動を実施するにあたって、JNTO北京事務所、(財)日中経済会北京事務所札幌経済交流室、クレア北京事務所などの連携を強化しながら、今後とも積極的なプロモーションを展開し、札幌への誘致成功を目指してまいります。

インセンティブツアー受入実施 台湾国華保険社・中国フィリップ社

近年、アジア各国からの企業インセンティブツアー北海道開催が増加する中で、札幌コンベンションビューローでは、その主催企業及びツアー参加者に対しさまざまな受入支援を行っています。



到着の第一歩は、良い思い出の一枚となること。

去る3月8日(日)と10日(火)の両日、台湾国華保険会社の500名のインセンティブツアーが2グループに分かれて実施され、当ビューローでは、新千歳空港において、ミスさつぼろとともに参加者を出迎えました。ミスさつぼろとの写真撮影など、北海道到着の第一歩は、良い思い出の一枚となったこととなりました。

また、インセンティブツアー誘致のアジア戦略として、現在、当ビューローでは、中国市場をターゲットにしたプロモーション活動を展開しておりますが、去る4月29日(水)には、中国フィリップ社のインセンティブツアー1100名を受け入れるなど、徐々にその成果を挙げています。

このたびのツアー（3泊4日）では、札幌、小樽、洞爺湖、登別を訪問。受け入れにあたっては、北海道運輸局、千歳観光連盟などと協働体制を組み、より効果的なプロ



雪だるまをモチーフにした札幌オリジナル・グッズ

モーションにつなげることができました。今後さらなるインセンティブツアー誘致に向けて、当ビューローではオリジナルのギブアウェイ（グッズ）を企画製作しました。地元関係機関と連携しながら、新しいターゲット拡大に向け、一層の誘致活動を展開していきたいと考えています。



DVD「REAL Hokkaido, Japan」北海道の真の魅力6つの分野（夏、冬の自然風景、アクティビティ、食、コンベンション、自然との共生）に分けて紹介しているDVD「REAL Hokkaido Japan」が、海外の富裕層をメインターゲットに観光旅行・国際会議の誘致促進を図るために製作されました。お問い合わせは、札幌コンベンションビューローまで 011-211-3675

日本コンベンションサービス株式会社 北海道支社 札幌市北区北7条西1丁目1-2 SE 山京ビル6階 ☎738-3503
http://www.convention.co.jp/

団体賛助会員 紹介コーナー 2000年12月入会。JCSは北海道洞爺湖サミット首脳会議の通訳業務をはじめ、G8外務大臣会合、日本医学会総会等40年にわたり8,000件を超える運営実績。全国9箇所に拠点網と世界33カ国・68都市のネットワークでお客様の大切なコミュニケーションの場を強力に支え続けてまいります。コンベンションのことなら何でもご相談ください。

株式会社 文進堂 札幌市白石区中央2条5丁目15番1号 ☎866-9831

団体賛助会員 紹介コーナー 1998年6月入会。昭和41年に発足し、43年間、札幌を中心に、諸官公庁・一般社を対象として納品に力を入れ、札幌市役所とは、10年前からお付き合いが始まりました。道産子企業として、札幌市の発展に寄与し、札幌国際プラザの企業理念に賛同したため賛助会員になりました。微力ながら、従業員数7人と小さい会社ですが、頭と体をめいっばい使って、お仕事をさせていただきます。今後ますますの札幌国際プラザの発展に貢献したいと念願しております。

国際観光コンベンション フォーラム2009開催

3月10日(火)～11日(水)、島根県松江市のくびきメッセと鳥取県米子市の米子コンベンションセンターにおいて、「国際観光コンベンションフォーラム2009」が開催されました。同フォーラムは2006年、2008年と札幌で開催し、今回は3回目となりました。



基調講演は、金沢21世紀美術館館長 秋元雄史氏による「アートによる『創客・創流』直島そして金沢から」。伝統文化の街・石川県金沢市に新しい風を吹き込んだ同美術館の魅力についてお話いただきました。引き続き、「観光コンベンションと地域の未来」創客・創流の時代へ」というテーマのもと、とっとりコンベンションビューロー専務理事の長谷川泰二氏をコーディネーターに、観光庁参事官 大滝 昌平氏、松江観光文化プロデューサー 高橋一清氏、京都嵯峨芸術大学教授 桑田 政美氏をパネリストに迎えて、パネルフォーラムを行い、地域における取組みの紹介や目指す方向性、将来の観光コンベンションについての議論がありました。



初めての山陰エリアでの開催でしたが、全国から99名の参加登録があり、観光コンベンションに対する期待を感じました。次回は札幌での開催を予定しています。

初めての山陰エリアでの開催でしたが、全国から99名の参加登録があり、観光コンベンションに対する期待を感じました。次回は札幌での開催を予定しています。



コンベンションカレンダー 2009年8月～2009年11月

札幌コンベンションビューローでは、札幌市内で開催が予定されている主なコンベンションで、主催者側から公表が許可されているもののみ、ホームページ上の「コンベンションカレンダー」にて公開しております。コンベンションカレンダーは半期に一度更新をおこなっており、約1年先までの開催情報だけでなく、既に開催された過去の情報も提供しております。

<http://www.conventionsapporo.jp/j/meeting/calendar/calendar.html>

国際コンベンション		
8月	第2回日本数学会季期研究所「超平面配置」	(120名)
8月	大西洋まぐろ類保存国際委員会 (ICCAT2009)	(80名)
9月	第14回核融合炉材料国際会議 (ICFRM-14)	(600名)
9月	国連 CEFACT 第15回フォーラム	(300名)
10月	ADASS2009 (SEGJ)	(300名)
10月	The 4th International Congress on Stress Responses in Biology and Medicine	(600名)
10月	The 9th SEGJ International Symposium (SEGJ)	(200名)
10月	NOLTA2009 (2009 International Symposium on Nonlinear Theory and its Applications)	(250名)
10月	The Fifth Asia Information Retrieval Symposium (AIRS 2009)	(100名)
11月	MNC2009 (マイクロプロセス・ナノテクノロジー 2009)	(400名)

国内コンベンション		
8月	第18回母乳育児シンポジウム	(1,000名)
8月	第61回歴史教育者協議会全国大会	(1,000名)
8月	第56回日本臨床検査医学会学術集会	(1,000名)
8月	第42回照明学会全国大会	(600名)
9月	第56回日本栄養改善学会学術総会	(3,000名)
9月	第48回大学英語教育学会	(800名)
9月	資源・素材学会 秋季大会	(600名)
9月	第30回日本アフェレンス学会学術大会	(800名)
9月	第57回日本心臓病学会学術集会	(5,100名)
9月	第14回日本糖尿病教育・看護学会学術集会	(2,400名)
9月	日本育種学会講演会札幌大会	(700名)
9月	日本分析化学会第58年会	(1,500名)
9月	第13回日本ワクチン学会学術集会	(630名)
10月	第47回全日本ボイラー大会	(700名)
10月	第20回日本急性血液浄化学会学術集会	(600名)
10月	第54回日本口腔外科学会	(2,000名)
11月	第19回日本乳癌検診学会総会	(1,500名)

コンベンション誘致／開催支援サービス

当ビューローでは、独自のコンベンション誘致・シティPR活動を行うとともに、具体的にコンベンション開催をご検討される主催者の皆さまに心のこもったコンサルティング・サービスを展開しています。

- **コンベンション企画に対するコンサルティング ～ 開催にあたり幅広く情報を提供**
コンベンション会場や宿泊施設の選定相談・事前視察支援、アウトリーチプログラム企画支援
- **財源確保 ～ 貸付金制度、助成金制度**
コンベンション開催資金貸付制度：総予算額20%以内で300万円限度、最長2年間にわたり無利息貸付
- **関連企業のご紹介 ～ 「コンベンション札幌ネットワーク」ほか、ご紹介**
多岐にわたり優れたサービス提供業者が集う「コンベンション札幌ネットワーク」 <http://www.sapporo-convention.net/>
- **広報支援、行政機関・各種団体との連絡調整 ～ コンベンションに対する後援等**
ウェブサイトによる情報提供と広報支援、学会誌告知・サーキュラー作成にあたっての資料提供
- **コンベンション会場における運営支援活動 ～ 主催者・参加者の満足度を高める支援**
運営支援ボランティア派遣：札幌を拠点とした国際・全国規模コンベンションに対し、シティ・インフォメーション・デスク設置をはじめ、登録受付業務の補助など各種運営支援を目的として、(財)札幌国際プラザ外国語ボランティア登録者を派遣。
参加者向け資料の提供：より快適な滞在のため札幌市公式観光ガイドブックや各種観光パンフレット等を提供。

コンベンション誘致・開催支援に関する各種お問い合わせには、電話・FAX・電子メールのほか、ウェブサイトには設置のオンライン・フォーム(日本語、英語)をご利用いただくことができます。情報と時間の効率的なサービスをぜひご利用ください。

■ **コンベンションバッグを製作・販売しています!!**
コンベンションバッグとして、環境に配慮したエコマーク認証バッグを製作・販売しています。雪の結晶をモチーフとしたデザインは、札幌市が推奨する「札幌スタイル」認証製品の制作会社に委託したもので、コンベンション参加者が最も使いやすいA4サイズです。1枚120円で販売しておりますので、ぜひご利用ください。



■ **問い合わせ先**
札幌国際プラザ・コンベンションビューロー
TEL:011-211-3675 / FAX:011-232-3833
E-mail:convention@plaza-sapporo.or.jp
<http://www.conventionsapporo.jp/j/>
(東京事務所)
〒100-0006 東京都千代田区有楽町2丁目10番1号 東京交通会館3階
TEL:03-3216-5090 / FAX:03-3216-5199

初めての全国的なコンベンション研究組織立ち上げ 日本コンベンション研究会 設立

「国際観光コンベンションフォーラム2009」の開催に先立ち、「日本コンベンション研究会」の設立総会が開かれました。

過去2回札幌で開催された同フォーラムには、全国から関係者が集い、今後のコンベンションのあり方を議論してきましたが、その中で、継続してコンベンションの理論、技術、人材を育てていくことが必要不可欠だとの共通認識を持つにいたり、学術的な視点からのコンベンション研究を目的として会を創設することとなったものです。

会場には、各地のコンベンションビューロー、関連企業、観光分野の研究者などが集まり、この会に対しての大きな期待が寄せられました。

研究会では、「国際観光コンベンションフォーラム」の継続的な開催や実学を基盤とした地道な研究活動を行い、近い将来、この会を「学会」へと発展させていくことも目標として掲げられました。

総会に来賓としてご出席の観光庁大滝昌平国際会議担当参事官からは、「参加の皆さんの熱い心、問題意識には共感を覚える。観光庁としてはMICE推進を検討していくが、この会からの声をコンベンション政策に反映させることもできる。このような動きには、

研究会活動の情報発信としてホームページを立ち上げ、今後、定期的な研究発表会、会員とゲストによる討論会、幅広いテーマでの講演会などの開催も予定しています。

研究会活動の情報発信としてホームページを立ち上げ、今後、定期的な研究発表会、会員とゲストによる討論会、幅広いテーマでの講演会などの開催も予定しています。



URL <http://www.japan-convention.net/>

Information

インフォメーション

サロン・カウンター よくある質問

Q & A

交流サロンの案内カウンターでは、国際交流に関する情報や外国籍市民向けの生活・観光情報を提供しています。ここでは、案内カウンターにいらっしゃる方から実際によくある質問にお答えします。

Q. 語学エクステンジのパートナーを探したいのですが。

交流サロンには異文化交流の情報交換を目的とした「メッセージボード」があります。ここに語学エクステンジパートナー募集のメッセージを掲示することができます。所定の用紙にメッセージを記入して、カウンターにお持ち下さい。掲示期間は原則として10日間です。



メッセージボードは他にもレッスンのご案内、転居セール、サークルメンバー募集、パーティーのお知らせなど様々な用途で利用できます。詳しくは、国際プラザ交流サロン案内カウンターまでお気軽にお問い合わせください。



■ 交流サロン

住 所：札幌市中央区北1条西3丁目MNビル3F 開館時間：月曜～土曜 9:00～17:30
電話番号：011-211-3678 日曜・祝日・12/29～1/3休み

賛助会員募集

新規会員募集中

札幌国際プラザは皆様のご支援、ご協力に支えられて、様々な事業を実施しています。会員になりますと、プラザ主催のイベント、セミナー、講演会のご案内や有料印刷物の割引を受けられます。多くの皆様のご入会をお待ちしております。

- 個人会員／一口 3千円
- 団体会員／一口 2万円

賛助会員PRコーナー

年間約2万1千人が利用する札幌国際プラザの交流サロン内に、A4パンフレットを配架できる賛助会員専用のスペースがあります。営業宣伝などにご利用いただけます。

- 年間契約／2万円
- 短期契約／1ヶ月2千円 (最低利用期間3ヶ月)
- 【お問い合わせ】 国際プラザ総務課 電話:011-211-3670



25ヶ国以上の留学生と異文化交流、 多文化の共有を体験できる日本語学校です。

あなたのご都合に合わせた2コース 日本語教師養成講座

教育訓練給付制度適用
(コース修了後、授業料の20%、最大10万円が戻ります。)

- 専科(6カ月間集中)
- 本科(午前・午後)

説明会随時実施中!

※入学時期は4月、10月の年2回。
●無料で入学案内をお送り致します。お気軽にお問い合わせ下さい。



外国人のための日本語 JAPANESE FOR FOREIGNERS ■ 大学進学コース ■ 一般日本語コース

財団法人 札幌国際日本語学院
勸日本語教育振興協会認定校

札幌国際日本語学院 Japanese Language Institute of Sapporo

〒064-0806 札幌市中央区南6条西26丁目2番7号
地下鉄円山公園駅徒歩7分

TEL.011-562-7001 FAX.011-562-7002
<http://www.jli.co.jp/> E-mail: info@jli.co.jp